



修了生の声

有限会社 金星工業

井藤 美幸 さん



令和元年 5月 テクニカルメタルワーク科入所 (6ヶ月訓練)

令和元年11月 有限会社 金星工業 入社 (勤続3年目)



▲インタビューの様子

なぜテクニカルメタルワーク科へ入所されたのですか？

元々は販売の仕事をしていましたが、別の仕事をやってみようとしてハローワークへ行ったところ、就職前に勉強ができるポリテクセンターを紹介されました。それからポリテクの見学会で溶接を知り、その後の体験会で実際に溶接を体験したのと、女性の職人が活躍している事例を聞いたのがきっかけで、テクニカルメタルワーク科への入所を決意しました。

訓練を受けてどうでしたか？

訓練は新たに覚えることばかりで大変でした。機械や工具の使い方や、作業手順など、次から次へと新しい事を覚えなければなりません。また実習も手本を真似てやるものの上手く行かず落ち込むこともありましたが、訓練は一人ではなく、クラスメイトで教え合ったり相談したりできたので、周りの支えもあって無事訓練を終えられました。

会社に入ってからはどうでしたか？

会社では配管の溶接や、その段取り（切断、研削、組立等）を行っています。ポリテクの訓練では『安全』を意識してゆっくり確実に作業を行いましたが、製造現場では作業の『速さ』が全然違いました。

会社へ就職してから現場作業のことを沢山学びましたが、ポリテクで溶接用語等の基礎を習ったおかげでスムーズに新しいことを学べました。即戦力にはなれませんでしたでしたが、土台としてポリテクへ入った価値がありました。

修了生の先輩は一人前になった今も学び続けているので、私はもっと学ばないといけないと思っています。



▲パイプ溶接の技能資格取得を目標に練習をする井藤さん



▲パイプ溶接の試験課題

女性ならではのところはありますか？

力では男性には敵わないので、よりテクニックを要する部分や、手際の面で活躍しようとしています。「自分ならではの部分を見極めて、段取りよくケガなくできるのが女性の職人だ」と女性の先輩に習いました。

私は体格が小柄であるため、狭いところの溶接をする際には役立っています。また現場で力の要る作業をする場合は、手際よくできる下準備をしてから男性の職人をお願いすることによって、段取り面で役立つように心がけています。力仕事ができない分、手や足や頭を動かして稼いでいる感じです。



採用者の声

有限会社 金星工業

代表取締役 津留 良太 様

有限会社 金星工業

〒299-0107

千葉県市原市姉崎海岸34番地

電話：0436-61-2033

FAX：0436-61-2066

【事業内容】

プラント配管工事、各種溶接



ポリテクから採用するメリットはありますか？

資格取得や、基礎を覚えて来てくれることが助かっています。我が社の作業はポリテクで取得できる資格と関係するので、その作業は就職後すぐにさせられます。また、訓練を通じて現場作業の意識の下地が出来ているので、就職後に大きなミスマッチがない点でも助かっています。

女性の採用はいかがでしたか？

以前にも女性の修了生を採用していたので、会社として大きな抵抗はありませんでした。ただ、現場特有の荒っぽい言葉遣いがあるので、本人は最初不安だったようですが、今では徐々に慣れてきたように感じます。男性とは力の差があるので、男性の職人と同じように働けず葛藤を抱える部分もあるようですが、女性の先輩の修了生と共に女性の職人ならではの働き方を探っているところです。

どんな人が『ものづくり』向きですか？

『やりたい』気持ちがある人ですね。器用不器用は関係ありません。『やりたい』気持ちがあれば、繰り返し練習する中で徐々に習得できます。

現場の作業には常に決まったマニュアルや正解があるわけではありません。例えば、出先の現場による違いもあれば、扱う材料によっても変わりますし、その日の天候や環境によっても変わります。変動する条件が多いため、『経験』に勝るものはありません。

だからこそ訓練でも、就職した後も、様々な経験から学習し、様々な条件下で自分なりのやり方を模索しながら作業をする必要があります。その根源が『やりたい』気持ちです。最初のきっかけは、ちょっとした興味や関心で大丈夫です。そんな気持ちがあれば、ぜひ溶接等の作業を一度体験してみたいですね。